

令和3年度決算の状況

1 業務の内容

令和3年度における年間総配水量は37,980,530^mで、前年度に対し571,220^m（1.48%）減少し、一日平均配水量は104,056^mでした。

また、配水量のうち県水は34,192,170^mで全体の90.03%を占め、自己水（地下水）は3,788,360^mで9.97%を占めました。

事業収支については、水道事業収益の8,162,342,620円に対し、水道事業費用は6,775,979,359円であり、収支の差引はプラス1,386,363,261円となりました。損益収支では1,182,753,582円の純利益が生じました。

2 損益計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位：円）

	科 目	金 額
水道事業収益		7,499,625,349
	1 営業収益	6,654,463,032
	2 営業外収益	844,800,580
	3 特別利益	361,737
水道事業費用		6,316,871,767
	1 営業費用	6,097,186,430
	2 営業外費用	217,447,442
	3 特別損失	2,237,895
	当年度純利益	1,182,753,582

3 貸借対照表（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

	科 目	金 額
資 産		65,940,542,578
	1 固定資産	56,647,748,530
	2 流動資産	9,292,794,048

（単位：円）

	科 目	金 額
負債・資本		65,940,542,578
	1 固定負債	8,528,106,016
	2 流動負債	2,555,752,240
	3 繰延収益	19,089,862,820
	4 資本金	30,931,201,818
	5 剰余金	4,835,619,684